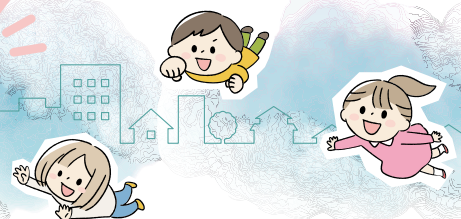




まちの話題



8月28日[Sun]

子ども議会を3年ぶりに開催



▲子ども議員のみなさんと横尾俊彦市長（後列左）、野北悟議長（後列右）

多久市内の義務教育学校の児童が議員役となって議会を模擬体験する「子ども議会」（主催：多久市議会）が3年ぶりに開かれました。

今回は「児童生徒による情報端末の適正利用について定める条例」について6年生7人が議案質疑を行い、討論・採択と本物の議会さながらに議事が進められました。

子ども議員の隣には現役の市議が座り、優しくサポート。議会体験を終えた西山柚咲さん（中央校）は「自分で立候補して参加しました。議員さんと一緒に質問を考えるのが楽しかったです。議員の仕事に興味が湧いてきました」と目を輝かせていました。



9月9日[Fri]

ハンドボール古川吉平選手 男子ユースアジア選手権4位！



▲（左から）荒瀬弘之副市長、横尾俊彦市長、古川選手、石田俊二教育長

8月20日から8月31日にかけてバーレーンで開催された第9回男子ユースアジア選手権で活躍された古川吉平選手（北多久町出身）が多久市を表敬訪問されました。

この大会で日本チームは4位となり、来年7月にクロアチアで開催される世界選手権への切符を獲得。古川選手はRB（ライトバック）として全試合に出場し、日本チーム最多の29得点を挙げ、日本選手で唯一、アジアベストセブンに選出されています。「海外選手に身体面、技術面で負けないよう頑張りたい。世界大会に向け精進し、世界ベスト4に入りたい」と抱負を語られました。

横尾市長も「多久市民も世界レベルの活躍を期待しています。そのためにも良く体調を管理して、頑張ってください」とエールを贈りました。

※ベストセブン…各ポジションで最も優秀であった選手

9月12日[Mon]

世界ユース選手権で多久高校 通谷 律選手が優勝！



▲（左から）多久高校甲斐章校長、登山部顧問樋口義朗先生、通谷選手、横尾俊彦市長、石田俊二教育長

8月22日から31日にかけてアメリカ・ダラスで開催されたスポーツクライミングの世界ユース選手権において、多久高校1年の通谷 律選手（伊万里市出身）がボルダリング競技※で優勝、リード競技※で4位に輝きました。

世界一を勝ち取った通谷選手は「世界大会での優勝は初だったので、とてもうれしい。会場からもたくさんの祝福をいただき、周りの外国人選手とグータッチをして喜びを分かち合いました」と笑顔で話されました。

通谷選手は、10月に開催される栃木国体に出場予定。世界大会についても、樋口顧問は「日本選手の水準が急速に上がっており今後も期待できる」と話されました。

※ボルダリング競技…5m以下の壁に設定された複数のコースをいくつ登れたかを競う競技

※リード競技…12m以上の壁をどこまで登れたかを競う競技

